



村小だより

令和元年6月14日発行

お力添えに 感謝して

校長 鈴木 正美

学校では、ツツジのピンクが玄関先に彩りを添えています。茶木も柔らかく艶々した新芽を空に向かって伸ばしています。そして、玄関脇では、紫陽花が次の出番を待つ時節となりました。例年の光景ですが、1学期も後半に入っています。

さて、新学期がスタートしてからのこの間、毎朝、ボランティアで子どもたちの登校を見守り、声をかけてくださる「ながらパトロール」の皆様をはじめ、多くの皆様のおかげで、大きな事故に遭うこともなく、安全に登校することができています。また、本の読み聞かせボランティアの皆様からも、読書指導の一端を担っていただき、子どもたちは落ち着いた気持ちで一日をスタートさせています。誠にありがたく、心から感謝申し上げます。

併せて、マラソン大会(全校)、佐渡への修学旅行(6年)、ファミリーウォークラリー(1~4年)、自然教室(5年)等の学校行事をはじめ、お城山探検(1年)、野菜の苗植え(2年)、お茶摘み体験(3年)、警察署、消防署の見学(4年)、田植え(5年)等々、教科等学習の校外での見学や体験活動も、ほぼ予定通りに実施することができ、ねらいを達成することができたと喜んでいるところです。これも、安全で円滑な運営のためにボランティアとして参加くださった保護者や地域の皆様、貴重な体験の場を提供してくださった関係者皆様のおかげと、感謝申し上げます。

地域の特色を生かし、地域とのつながりを重視した活動はまだまだ計画されていますが、今後とも当校が進める「伝統を生かし、未来を拓くひとづくり」のために、お力添えをいただけますよう、よろしく願いいたします。

<6/4 全校朝会:校長の話から>

これは村上地区にある学校や幼稚園の印で、校章・園章と言います。どこのものか分かりますか。……。(しばらくして、全校の子どもの力で全部当てました。)左から、村上小、村上南小、村上第一中、村上幼稚園です。じゃあ、この4つの校章にデザインされている生き物は何か分かりますか。(これは即答でした。口を揃えて「鶴」)村小の校章が大ヒントだね。大正解。



最後はチョコちゃん風に聞くよ。ねえねえ、村小のみんなあ。どうして校章に鶴がデザインされているの～? ……。(しばらくして、手が上がり始めたところで)正解は分からないけど、私なりに考えてみると、①お城山に建てられていたお城の名前が「舞鶴城」、②村上の人たちにとってお城山を町の「シンボル」「じまんの場所」。このようなことが考えられますが、実際はどうだったのでしょうかね。

さて、6/8、9には、「お城山フェスティバル」があります。3年前の村上小卒業生の提案を元に、それを叶えようと企画されたイベントだそうです。時間のある人は覗いてみてください。

お祭りも近付いてきました。乗ったり、奏でたり、曳いたり、見物したりと、かかわり方は様々だと思いますが、「村小っ子」の力や素晴らしさを大いに発揮して、重要無形民俗文化財となった伝統行事を楽しみ、支える一役を担ってほしいと願っています。